



TOHOKU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE 2026

SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES
SCHOOL OF HEALTH SCIENCES



東北大学医学部 2026
医学科 — 保健学科

医学という

学問を学ぶ



東北大学医学部は1872年に「宮城県立医学所」として設立され今年で153周年を迎えます。また、国立大学医学部としては1915年に東北帝国大学医科大学の設立から110周年となります。本医学部はこの100年を越える歴史の中で、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の3つの建学理念のもとに、優れた医学研究者を数多く輩出し、いくつもの大きな研究成果を世に送り出してきました。すなわち、研究を第一の使命とし医学部では100以上の研究室で最先端の医学研究を推進しています。また、戦前の大学で唯一、女性や師範学校卒業生を受け入れたことはダイバーシティ重視の先駆けとして高く評価され、そしてなお、分け隔てない医療を提供することを使命としています。そして、実学尊重として人類、社会に貢献できる研究成果を挙げることで新たな社会価値を創出し続けています。この3つの理念に則って教育研究と医療を最高レベルで推進していることが本医学部の最大の特徴です。

皆さんは高校までの学習で多くの知識を学び、その知識を試験で評価されてきたことでしょう。しかし、皆さんが学んだ知識というのは過去に既に明らかにされた事実であり、知識の習得は学問ではありません。学問とは正解が存在するかもわ

からない未知なるものを探究し新たな知見を獲得するために行う科学的な営みです。そして医学という学問は、人体の正常や異常の仕組みを解明し法則を発見することで人類の健康を保障し、疾患の予防、診断、治療の方法を見出すことを目的とした科学研究です。東北大学に入学する皆さんには、医療従事者の資格を得るだけでなく真の“医学”を学んで欲しいと思います。

東北大学は国際卓越研究大学の第一号として採択されました。国際卓越研究大学は我が国の研究力を世界トップにすることを目的とした国家プロジェクトです。採択された大学は、25年にわたって国から多額の支援を受け、世界トップレベルの研究大学となることが期待されています。このような東北大学で医学を学び次世代の医療・医学研究のリーダーを目指してみませんか。

東北大学大学院医学系研究科長・医学部長
石井 直人 Ishii, Naoto

1989年 東北大学医学部卒業
1989年 東北大学附属抗酸菌病研究所小児科学教室入局
1995年 東北大学医学部細菌学教室助手
2003年 東北大学大学院医学系研究科免疫学分野准教授
2009年 同 教授
2023年 東北大学大学院医学系研究科長、医学部長に就任、現在に至る

沿革

医学部医学科

- 1817年(文化14年) 仙台藩が藩の学問所「養賢堂」から「仙台藩医学校」を独立させ、同時に施薬所(現在の東北大学病院に相当)を設ける
- 1872年(明治5年) 宮城県立医学所に改組され、医学部同窓会(良陵同窓会)が同年を創立の年と定める
- 1907年(明治40年) 東京、京都に次ぐ第3番目の帝国大学として東北帝国大学が設立
- 1915年(大正4年) 文部省令第10号により帝国大学医科大学として設置
- 1949年(昭和24年) 東北大学が国立学校設置法により新制大学となる
- 2015年(平成27年) 東北大学医学部開設から100周年



往診医携帯小道具



タイガー計算機



解体新書



Torsion Balance

医学部保健学科

- 1913年(大正2年) 4月、附属医院看護婦養成所(県立宮城病院看護婦養成所を移管)を設立
- 1915年(大正4年) 医科大学開設に合わせ、医科大学附属医院看護婦養成所に改名
- 1919年(大正8年) 医学部附属医院産婆養成所が開設
- 1945年(昭和20年) 附属医院厚生女学部の設置
- 1951年(昭和27年) 医学部附属看護学校・医学部附属助産婦学校を設置
- 1953年(昭和28年) 医学部附属診療エックス線技師学校を設置
- 1962年(昭和37年) 医学部附属衛生検査技師学校を設置
- 1973年(昭和48年) 上記を医療短期大学部として統合
- 2003年(平成15年) 医学部保健学科を設置

北斗七星になぞらえて



ロゴマーク

東北大学設立の直接の基礎となった東北帝国大学は、東京、京都に次ぐ第3番目の帝国大学として明治40年(1907年)に創立された。この時の開学の祝賀歌は、この大学を天の中枢を指す北斗の姿になぞらえて、東北の光と讃えている。すなわち、北斗七星には、北極星の様な不動の真理を求め、さらに広く世人の道しるべとなろうとする本学の理念が象徴されている。

詳しくはこちら



INDEX

医学科 School of Medical Sciences > P03

世界トップレベルの環境で最先端医療・医学研究を体験し、グローバル社会で自立する明日の医療を担う人材を目指します

- カリキュラム・ポリシー > P05
- 学びの流れ > P06
- 留学 > P09

保健学科 School of Health Sciences > P13

【看護学専攻】 > P16

‘ケア’の本質を追究する看護学の学習を深めます

【放射線技術科学専攻】 > P17

安全・正確・高精度な放射線技術へ可能性は広がり続けます

【検査技術科学専攻】 > P18

病気の原因・治療方法を判断するための先端技術を学びます



医学部 医学科

School of Medical Sciences

世界トップレベルの環境で
最先端医療・医学研究を体験し、
グローバル社会で自立する
明日の医療を担う人材を目指します。



教育理念

東北大学医学部医学科は、教員と学生相互の協調により強固な教育基盤を構築し、医学・生命科学の根元を解明する研究および教育を実践し、豊かな人間性と旺盛な探求心を育み、人類の健康と福祉に貢献する指導的高度専門職業人を育成する。

教育目標

東北大学医学部医学科の学生は、将来、医学・医療の様々な領域において指導力ある医師・研究者となるために、6年間の医学部教育において6つの教育目標を達成する。

1 プロフェッショナリズム

医師としての基本的な素養と習慣、倫理観を身につける。

2 医学知識

医学の根幹となる基礎医学・臨床医学の理解を深め、それらを統合し応用する能力を身につける。

3 コミュニケーション

医師としての基本的な対人関係能力を身につける。

4 診療技能

患者情報の収集と病態の推論・判断・対応を適切に行うために、臨床技能と医療安全の基本を身につける。

5 科学的探究

医学における未解決問題を見出し、科学的理論と方法により解決に取り組む能力を身につける。

6 地域と世界における医療

地域・国・世界の医療を俯瞰し、健康・疾病の動向と保健医療システムを理解する。



医学科長 高瀬 圭
Takase, Kei

知を楽しみ、医学・医療の礎に

医学の急速な進歩の中で、優れた医療と創造的医学研究を行っていくには、幅広い好奇心と飽くなき探求心を持って、学びを楽しみ、意欲を持ちつづけることが必要です。これは、医学研究を行う場合のみではなく、臨床の第一線に身をおいている期間においても、最も基本的で大切なことです。基礎医学を学ぶと、意外に早い段階で「未だ分かっていないこと」があることを認識し、臨床に触れると、現在の「医療の限界」を感じることでしょう。医学が進歩すればするほど、その先の「未知」や「解決すべき問題」は増えていくようにすら見えます。誰も気づかなかった現象や原理を発見する機会は医学研究の其処此処にあり、また、臨床を知るほどに新しい治療法を開発する使命感が湧いてきます。医学科での6年間を通じて、全人的医療のための幅広い教養と実践的医学を学ぶとともに、知の楽しみ方を身につけ、真理を探究する心を涵養し、我が国の医療、医学研究、さらには科学的発展の礎となっていだくことを望みます。

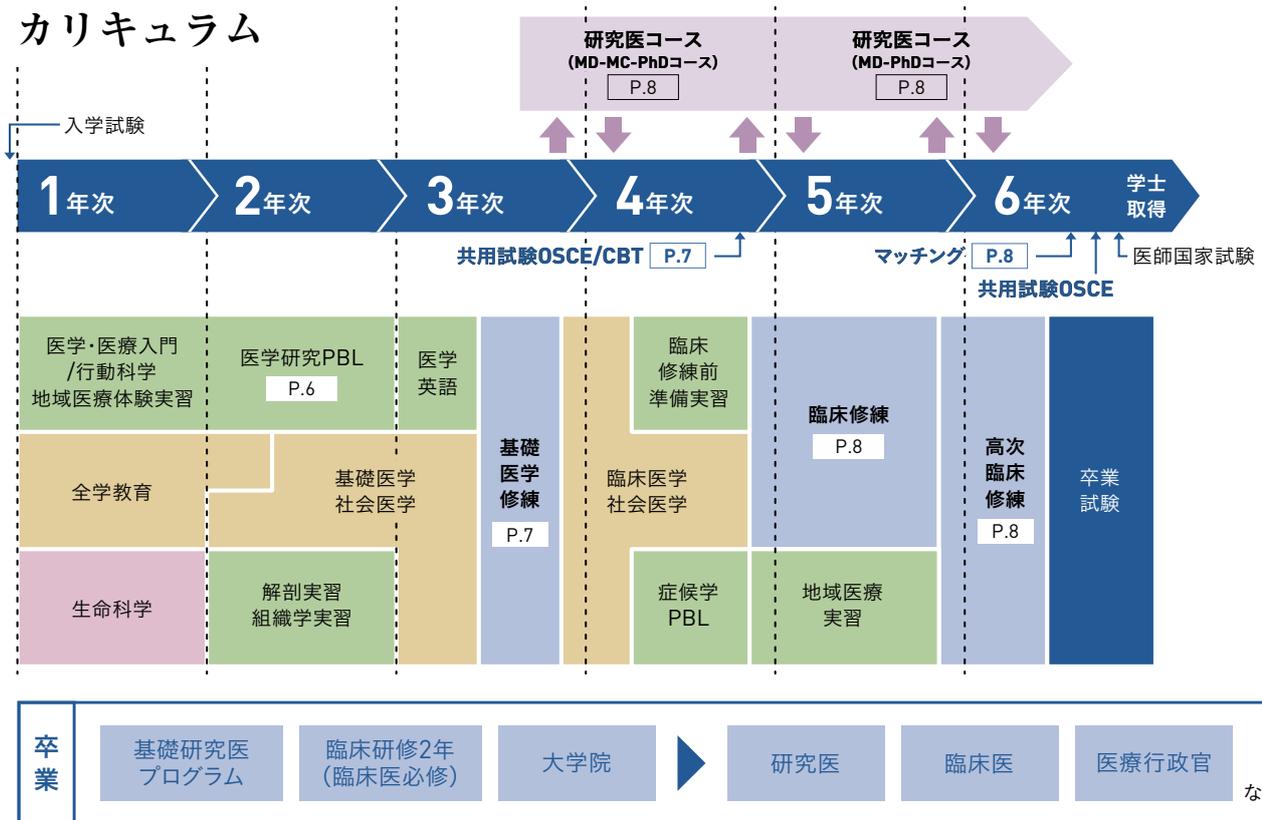
医学部医学科のカリキュラム・ポリシー (抜粋)

1 1、2年次は全学教育科目として幅広い一般教養科目と専門教育に活用可能な科目を提供する。1年次より専門教育科目を開始し、医療人、医学研究者として必要な基本的知識・技能・態度を6年間で段階的に修得させる。

2 研究第一の理念に則り、長期に亘り研究に従事し成果を発表する期間を設ける。医学研究PBL、基礎医学修練、高次臨床修練によって、医療リーダーや医学研究者として必要な能動学習・自己研鑽の技能と態度の涵養をはかる。

3 学習成果の適正な評価と個別フィードバックを行い、学習者の内省・自己啓発と能力開発を促進する。

カリキュラム



TOHOKU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE 2026

医学部医学科のディプロマ・ポリシー

医学部医学科では、定められた全科目 (全学教育科目、専門教育科目)を履修し、6つの教育目標に基づいた能力を有する学生に学士(医学)の学位を授与する。

1 プロフェッショナリズム

医師としての基本的な素養と習慣、倫理観を身につけている。

2 医学知識

医学の根幹となる基礎医学・臨床医学の理解を深め、それらを統合し応用する能力を身につけている。

3 コミュニケーション

医師としての基本的な対人関係能力を身につけている。

4 診療技能

患者情報の収集と病態の推論・判断・対応を適切に行うために、臨床技能と患者安全の基本を身につけている。

5 科学的探究

医学における未解決問題を見出し、科学的理論と方法により解決に取り組む能力を身につけている。

6 地域と世界における医療

地域・国・世界の医療を俯瞰し、健康・疾病の動向と保健医療システムを理解している。

1年次

全学教育科目の開始

1年次は全学教育で幅広い教養を身につけるとともに、専門教育の基礎となる3科目類から構成される科目も履修します。全学教育科目には「生命科学」の講義もあり、必修科目として医師として必要な人体の生物学を学びます。

Pick Up Curriculum

研究室取材訪問

新生生には、入学後間もない5月～6月に、研究室を訪問し研究テーマなどを取材する機会を用意しています。続いて、7月までに医学研究に不可欠な遺伝子組換えや実験動物の取扱に関する講習を全員が受講し、様々な研究に参加する準備が整います。これをきっかけに研究室に通い始め、研究に着手する1年生もいます。



医学専門教育科目の開始

1年次の専門教育科目として「医学・医療入門/行動科学」があります。これは複数のテーマからなるグループ学習・実習・講義で、1年間続きます。例えば少人数ワークショップでは、医師として必要な職業倫理、患者の権利や利益に関する基本原則などを自ら考え、グループ内、グループ間で議論します。早期医療体験実習では、血圧測定、心肺蘇生法、車椅子介助や高齢者介護の基本スキルを身につけた後に医療・介護施設を訪問し、実際の現場を体験します。また東北大学病院内では様々な職種のスタッフが医療に深く関わっていることを見聞き、チーム医療の重要性を認識します。医療コミュニケーション実習では、いくつかのテーマで模擬患者さんを対象として医療面接のトレーニングを行います。また、希望者には東日本大震災の被災地の現状を視察する実習も行われます。後期からは、専門科目の中の「解剖学・生理学序説」「医化学」「免疫学」「放射線基礎医学」「遺伝学」が始まります。

2年次

解剖実習の開始

約3カ月にわたり、解剖実習が行われます。解剖実習は単に人体の肉眼的構造を知識として習得するだけではなく、献体された方々と献体に深い理解をくださったご遺族に対する感謝の気持ちや、社会の人々の期待に応える自覚を持つことによって、将来医師に進む上での大きな精神的教育にもなります。

また1年次から続く専門科目として「生理学」「組織学」「発生学」「薬理学」「病理学」「微生物学」が始まります。またこの学年では「医学研究PBL」が行われます。PBLとはproblem-based learning (問題解決型学習)の略で、医学のさまざまな最先端のテーマについて、自ら問題点と学習項目を発見し、グループによる討論・発表を行います。

Pick Up Curriculum

医学研究PBL

学生はいくつかの先進的な医学研究に関するテーマから最も興味を持ったものを選び、初めに教員によるミニレクチャーを聴講します。その後、少人数のグループで課題を抽出して仮説を立て、その仮説を検証するために必要な情報を自ら収集し、最後に発表と討論に臨みます。これらの過程を通して、学生は将来、医学研究を実践するために必要な探究心、問題抽出能力、柔軟な思考を涵養します。

3年次

基礎医学修練の実施(研究室配属)

3年次には、社会医学系専門科目として「公衆衛生学」「衛生学」「法医学」に加え「医の倫理学・社会学」が始まります。また4月から「医学専門英語」としてE-learningと医学英会話のグループ学習を行います。

夏休み明けには、「研究第一」を建学理念とする東北大学の特徴である、「基礎医学修練」が行われます。各基礎系・社会医学系分野および基礎研究も実施している一部の臨床系分野に、学生が研究者として所属し、そこで18週にわたって研究を行うというものです。中には海外の研究機関で基礎医学修練を行う学生(25名程度)もいます。そして最後にその成果を口頭あるいはポスターを用い、学会形式で報告・討論を行います。なお、冬期休暇が明けた後、臨床系専門科目の講義が始まります。



Pick Up Curriculum

基礎医学修練

複数の医学部でも学生の基礎系分野配属は行われています。しかし、本医学科で行われている修練は他大学にはない、特記すべき点があげられます。即ち、1)修練期間中は月曜から金曜まで、2)その間は朝から夕方まで、フルタイムであること。3)配属分野は学生の希望をできるだけ優先し、4)最大でも各分野4名程度の少人数教育であること。5)分野によっては、ある期間、海外での修練も可能であり(毎年25名近くが海外研修を体験)、6)一部の成績優秀な学生には奨学金によるサポートがあること。7)多くの学生が研究成果を発表しますが、その運営は学生主体であり、8)発表者の中から優秀者の表彰があることです。

4年次

臨床系専門教育

この学年では、臨床実習を開始するために必要な臨床に関する医学的知識を習得するだけでなく、臨床的な技能と態度を身につけます。臨床分野は多数の診療科に分かれています。しかし人の病気は一つの診療科だけに限られるわけではありません。また、病気の徴候は人によって様々であり、それぞれの専門性だけに頼ると、診断や治療の遅れにもなりかねません。そこで本医学科ではつながりの深い複数の診療科をとりまとめ、それぞれのブロック別に講義と試験とを実施します。4年生は全てのブロックの試験に合格した後、改めて2種類の全国医学部共通の試験(共用試験)を受け、この合格をもって、「臨床実習生(医学)」が付与され、次の臨床実習に進むことになります。



Pick Up Curriculum

臨床修練前準備実習

全国医学部共通の試験(共用試験)では医学的知識を問うCBT(Computer-based testing)の他に、実際の臨床技能と態度を測る客観的臨床能力試験OSCE(Objective structured clinical examination)が行われます。従前の医学教育は医学知識重視型でしたが、現在では医学生のうちから医療面接や身体診察などの基本的な臨床技能と態度の習得が重要視されています。そこで本医学科では臨床修練がスタートする前に、8-9名のグループに分かれ、ローテーション形式の実習で、臨床実習に参加するために必要とされる技能と態度をしっかりと習得します。

5年次

臨床実習生として診療に参加

4年次後半から臨床修練(臨床実習)が開始され、以後の4年次と5年次は臨床修練に費やされます。この期間、多くの診療科(一部は選択)をローテートします。大学病院では、一つの診療科は複数の医療チームから構成されていることが多いのですが、原則、その一つに所属し、患者さんの診察、指導医へのプレゼンテーション、診断・治療方針に関してのディスカッションを通じ、診療参加型臨床実習を行います。診療科によっては、地域の病院への派遣も行われます。なお、カリキュラム外の企画として、東北大学と関連の深い病院が多数参加する臨床研修病院説明会が、主として5年次と6年次の学生を対象として開催されます。

6年次

高次臨床修練で研鑽

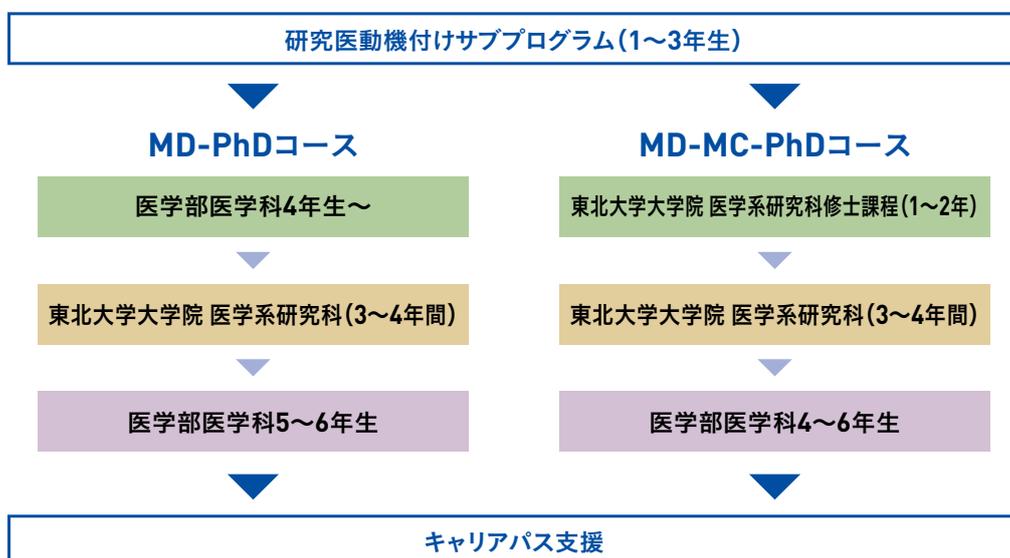
医学科6年生は希望する診療科に4週間単位で配属になります。学生は各科の医療チームの一員となって診療に従事します。また、交換留学制度等により海外の大学・医療機関での実習も可能です。多くの医学生は、今後進みたい診療科を念頭に入れて選択することが多いようです。なお、この高次臨床修練の期間の間に臨床研修マッチング登録を行い、最終的な研修病院先は秋に決定されます。6年次後半は、卒業試験を経て医師国家試験への準備期間となります。卒業試験では共用試験臨床実習後OSCEも行います。



研究医養成の取り組み

研究医養成プログラム

東北大学では、医療の発展に寄与するため研究医を養成すべく、研究医養成プログラムを実施しています。東北大学大学院医学系研究科では、「研究医養成プログラム」にもとづき、医学研究を志向する医学部医学科学生に対し、早期に研究を進展させる機会を与えることによって、医学・医療の急速な進歩と社会情勢の変化に対応できる若手研究者を養成することを目的とした研究医コース(MD-PhDコース)と、基礎医学修練から切れ目なく継続的に研究を進展でき、海外留学中での受験や長期間の海外での研究が可能な研究医コース(MD-MC-PhDコース)を設定しています。



留学

学生の学習や研究の可能性を広げる場をつくります。

国際化推進と英語コミュニケーション能力の開発

医学科では教育目標として6つの領域を定め、その中に「コミュニケーション」と「地域と世界における医療」が含まれます。具体的な到達目標（アウトカム）としては、「英語で医学・医療に関するコミュニケーションができる」、「地域から世界規模までの疾病の動向を説明できる」等を掲げています。

このアウトカムを達成するため、6年間のカリキュラムに、英語コミュニケーション能力開発プログラムと海外留学

の機会が設けられています。3年生の4月から行う医学英語の授業では、外国人講師による少人数グループ英会話と、医療英語専用のe-Learningソフトを用いて、国際人としての英語コミュニケーション能力を高めます。英語で患者さんを診察するトレーニングと能力評価の実技試験も組まれています。3年生の夏に始まる研究室配属では、例年25人前後が北米、アジア、ヨーロッパ、オーストラリアなどに留学します。トップレベルのラボで最長で5か月

留学参加レポート

留学先 ▶ フィリピン・東北大学RITM
新興・再興感染症共同研究センター



参加期間 ▶ 2024年12月2日～12月13日

医学科4年 齋藤 隆晟さん

【宮城県仙台二華高等学校出身】



私は、3年次の基礎医学修練の中で、解析結果への考察を深めることを目的として、検体が収集されたフィリピン共和国ビラン島、検体の処理・解析を行っているTohoku-RITM Collaborating Research Centerを訪問しました。熱帯地域の低所得者層における居住環境、医療体制と医療へのアクセス、交通機関や人の往来動態など、感染症流行に関係する社会経済背景を自ら確認することができた他、フィールドにおける研究活動の実際も見学させていただきました。検体採取の現場や研究に参加して下さっている現地の方の話等も聞くことができ、大変貴重な体験だったと考えています。また、研究室で扱っていた検体が実際にどのような過程を経てここまで来ているのかを知ることができ、研究活動の大変さや面白さをこの目で確認できた非常にいい機会でした。San Lazaro hospitalやTarlac Provincial Hospitalなど現地の病院も見学させていただき、狂犬病やデング熱など、熱帯に特徴的な感染症の患者や病棟などを見学しました。滞在期間は2週間でしたが、言語や文化、衛生環境も全く日本と異なるフィリピンで、様々な方とも会うことができ、日本には絶対にできない一生物の経験をすることができたと感じています。



主な留学先	アメリカ 国立衛生研究所(NIH) ヴァンダービルド大学 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 サンフォードバーナムプレビス医学研究所 サンフランシスコ総合病院 ジョーンズ・ホプキンス大学		ハーバード大学 ハワイ大学 マサチューセッツ総合病院 ミシガン大学 メイヨークリニック イェール大学 スタンフォード大学		イギリス エクセター大学 リーズ大学 サウサンプトン大学 バース大学	
	オーストラリア グリフィス大学 西オーストラリア大学 メルボルン大学		タイ タマサート大学 チェンマイ大学 マヒドン大学		フランス ロレーヌ大学	
	フィリピン サンラザロ病院 熱帯医学研究所(RITM)		台湾 台北医学大学		スイス チューリッヒ大学	
			シンガポール シンガポール国立大学		スウェーデン カロリンスカ医科大学	
			ノルウェー ベルゲン大学			

に亘って最先端の研究に打ち込み、帰国後は「基礎医学修練発表会」において英語で発表を行います。優れた成果を上げ、研究成果を国際学会や論文に発表する学生も少なくありません。また、次年度の4月には新入生に向けて「海外留学報告会」で留学体験を発表してもらい、1年生も2年後の留学を考える機会としています。

6年生で24週間行われる高次臨床修練では、同じく25人前後が4週間海外留学し、現地の医学生とともに臨床実習を行います。疾患や医療制度の異なる海外で異文化に接しながら行う実習は、とても有意義な経験です。留学から戻った6年生は、秋に4年生対象の「高次臨床修練海外留学報告会」を開催して、後輩に体験を伝えます。

留学先 ▶ フランス・ロレーヌ大学 
 参加期間 ▶ 2024年8月24日～12月23日



医学科4年 王谷 真比呂さん
 [立命館慶祥高等学校出身]

私は基礎医学修練期間を利用し4ヶ月間、フランスのロレーヌ大学で研究学生として留学しました。具体的には自閉スペクトラム症児童の感情理解における背景影響について、ソーシャルロボットを理解対象とし、視線追跡システムを利用しながら研究しました。研究室での活動に加えて、現地の福祉施設や小学校の視察なども行い、フランスでの児童精神医学や福祉について議論を交えながら理解を深めることができました。子どもの精神疾患についての理解や、国際的・学際的な研究経験を目的としていたため、自分の興味に沿った活動の機会に恵まれ、さらには現地生活の中で文化や考え方の違いも体感でき、とても充実した滞在となりました。研究室のメンバーやパリで行われた学会などからも多くの刺激を受け、自分の視野と興味の幅を広げられたと感じています。アルザス・ロレーヌ地方の食文化や伝統、建築などの街並みやクリスマスシーズンのイベントなど、文化的な体験も楽しむことができ、日本との違いや地域の特徴もとても興味深かったです。フランス語に苦労し模索しながらもコミュニケーション能力を向上させることができ、多くの出会いに恵まれました。留学で得られた発見と貴重なつながりは私にとって忘れられない大切な財産となり、これからの挑戦や学びのモチベーションとなりました。



V o i c e

学生の声



医学科5年

島野 賢一さん

【麻布高等学校出身】

学生にも開かれた充実した研究環境に魅力を感じ志望しました。講義では国家試験対策にとどまらず、基礎から臨床まで世界の最先端の研究成果を日々学べます。多くの研究室は学生をいつでも温かく迎え入れ、学びや研究の場を惜しみなく提供してくれる点が大きな魅力です。私は1年生のときに薬理学の研究室を訪れ、基礎研究の奥深さを実感しました。基礎医学修練で配属された病理診断学分野・大学病院病理部では、配属期間後も研究や病理診断、学会発表を通じて貴重な経験を積んでいます。また、ゼミや勉強会での学年を超えた交流は実に刺激的です。東北大学は、積極的に挑戦する学生を力強く支えてくれる環境です。



医学科6年

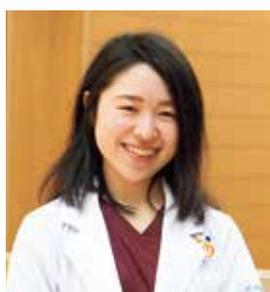
金田 紗耶さん

【東京都立両国高等学校出身】

国内外で活躍できる医学研究者を志す私にとって、「研究第一」の理念を掲げグローバルな教育を擁する東北大学は素晴らしい環境です。実際に3年次の基礎医学修練では4か月に渡って研究に専念でき、英語論文の読み方も教えていただきました。5年次から始まった病院実習では臨床と研究のどちらにも注力されている先生方の姿に感銘を受け、6年次には米国へ留学の機会をいただいたことで将来に対する視野が広がりました。また多様な夢をもつ仲間がそれぞれ実現に向けて励んでいる環境だからこそ、切磋琢磨しながら日々意欲的に学ぶことができます。皆さんが充実した6年間を過ごせるように願っています。

M e s s a g e

先輩からのメッセージ



東北大学病院

切替 日奈子さん

【令和4年3月卒業】

東北大学は「研究第一」という理念を掲げ、学生が学びたいことを追求できる環境が整っています。高校生の私は、研究ができる大学は東北大学だと確信し、本学を志望しました。在学中は1年次から研究室で学び、3年次の基礎修練では世界をリードする脳科学研究所、ノルウェー科学技術大学に留学させていただきました。充実した研究環境、熱意ある先生方、意欲的な同期に恵まれ、たくさんの「学びたい」を実現することができました。本学には「やりたい」の可能性が無限に広がっています。皆さんもぜひ自分の可能性にどんどん挑戦し、未来を切り開いていってください。一緒に東北大学で、医学とそれを超える研究ができる日を楽しみにしています。



東北大学病院

金 輝さん

【令和5年3月卒業】

研究第一と門戸開放を理念に掲げており、全国・全世界から集う志の高い仲間とともに医学を学べることに惹かれ、私は東北大学を志望しました。在学中の3年次の基礎修練では、研究室に在籍する多国籍の留学生たちと交流しながら発生学を学び、貴重な経験となりました。大学病院のある星陵キャンパスは、学生にとって充実した環境であることはもちろん、卒業してからも、最先端の医療、研究に基づいた臨床医学を実践する場として機能しています。研修医として働く中で、優秀な指導医にも恵まれ、その事実を日々実感しており、私にとっては拠り所のような存在です。ここ東北大学で、皆さんと共に切磋琢磨しあえることを期待しています。



年間行事・カリキュラム予定



4月 入学式・医学部入学者懇談会

看護学専攻
ウェアセレモニー(保3年)

5月 東北大学懇談会医学部 分科会

7月 オープンキャンパス

9月 検査技術科学専攻
ウェアセレモニー(保3年)

放射線技術科学専攻
ウェアセレモニー(保3年)

10月 医学祭

大学祭 ※川内キャンパス

卒業試験(筆記)本試験(医6年)

11月 臨床修練説明会・
キャリアパス懇談会(医4年)

12月 東北大学・東北薬科大学
合同慰霊祭・遺骨返還式(医2年)

基礎医学修練発表会(医3年)

1月 マッチング説明会(医5年)

長陵協議会加盟病院説明会

2月 白衣式(医新5年)

退職教授最終講義

3月 学位記授与式・学位記伝達式



医学部入学者懇談会



看護学専攻ウェアセレモニー



オープンキャンパス



白衣式

※日程および実施有無については変更になる場合があります



医学部 保健学科

School of Health Sciences

看護学専攻 | 放射線技術科学専攻 | 検査技術科学専攻

最新の知見に基づく保健医療の実践経験を通じ
人々の健康と社会を支える
ヘルスサイエンスを創造する人間性豊かな
研究志向の人材育成を目指します。



教育理念

少子高齢社会の到来による社会状況や保健・医療を取り巻く環境の変化の中で、予防から健康管理までを一貫して考える総合医療が求められています。保健学科では、このような社会的要請に応えるために、人間性豊かで幅広い教養と確固たる倫理観を有し、かつ、科学的な知識と技術、そして冷静、緻密な総合判断力を備えた保健・医療専門職を育成します。また、人々の健康的な生活を支援するために、他の保健・医療等専門職と協働してチーム医療・チームケアを実践できる人材を育成します。

教育目標

リサーチマインドを備えたヘルスサイエンス(健康科学)を牽引する、高度専門職、教育者、研究者を育成する。

- 1 人命を尊重し、豊かな人間性を持ち実践力を備えた医療人を育成します。
- 2 人間としての生活の質(Quality of Life)の向上を大切にする医療人を育成します。
- 3 チーム医療を柱に、総合的に医療現場を支援する教育を行います。
- 4 東北地方の地域性をも考慮した、地域医療をすすめる医療技術の教育を行います。
- 5 医学系分野と有機的に連携しながら総合的な教育を行います。
- 6 世界の人類に貢献しうる最先端の医療技術の教育を行います。



保健学科長 宮下 光令
Miyashita, Mitsunori

国際卓越研究大学にふさわしい ヘルスサイエンスのリーダーを育成する

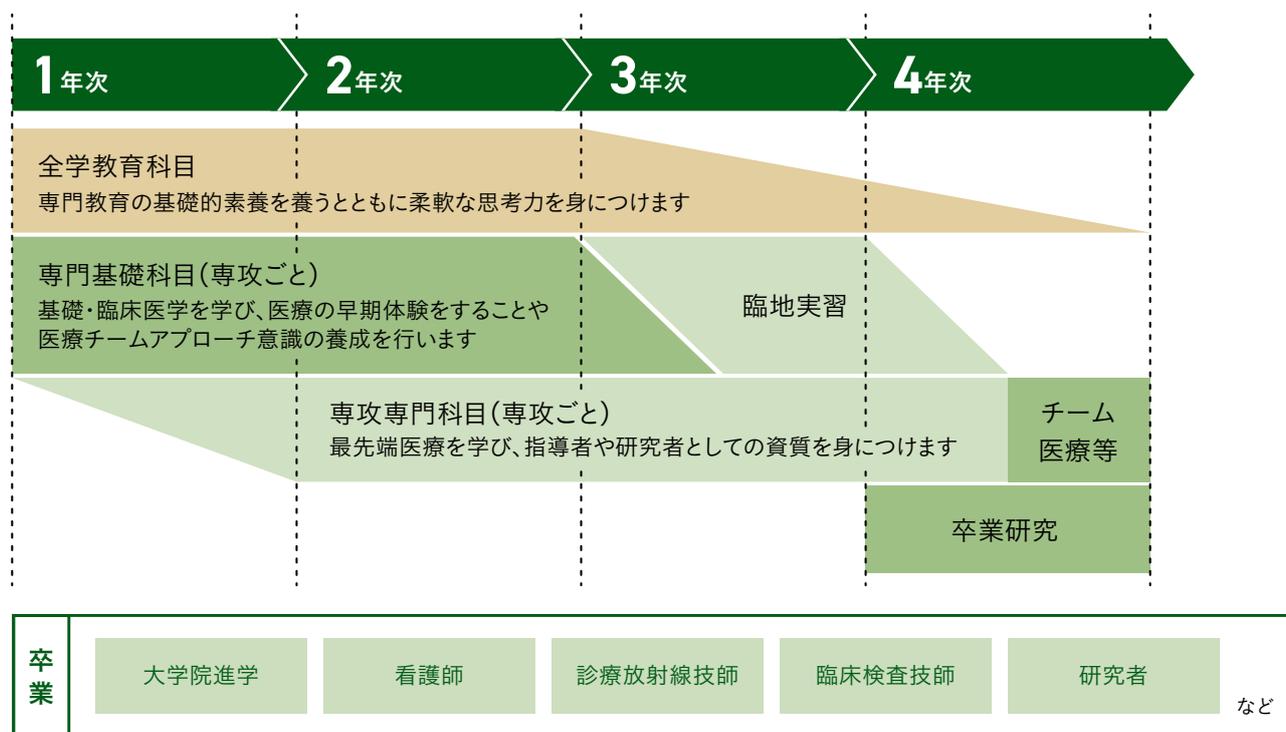
現代社会は、高齢化、生活習慣病の増加、新興感染症の脅威など、複雑で多様な健康問題に直面しています。本学は、国際卓越研究大学として、世界水準の研究・教育を通して、これらの問題に立ち向かい、人々の生活の質の向上に貢献できるヘルスサイエンスのリーダーを育成します。特に、豊かな人間性と倫理観を基盤に、リサーチマインドを備えたヘルスサイエンスを牽引する高度専門医療職者、教育者、研究者の育成を目指しています。これらの目標を達成するためには、高度化、複雑化する医療技術に的確に対処できる、科学的かつ深い専門知識が不可欠です。また、チーム医療を重視し、多職種連携を通して質の高い医療を総合的に提供することが求められます。これらの取り組みを通して、冷静かつ緻密な総合的判断力、優れた倫理観と豊かな人間性、そして社会的使命感を持ち、国際的にヘルスサイエンスの発展に寄与するとともに、地域医療にも貢献できる次世代のヘルスサイエンスリーダーを育成します。

医学部保健学科のカリキュラム・ポリシー (抜粋)

- 1 幅広い教養を修得するための全学教育科目を学ぶとともに、専攻の専門の基礎となる科目による動機づけ、専門の知識や技術の習得、臨地実習を通じた応用力の向上をはかる。
- 2 ライフサイエンス、ヒューマンサイエンスを探究する姿勢を尊重し、授業・実習、特に卒業研究によって研究マインドを涵養し、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の実践力を備えた医療専門職業人・医療現場のリーダーとして活躍する能力を育成する。
- 3 学習成果の適正な評価と個別フィードバックを行い、学習者の内省・自己啓発と能力開発を促進する。

※全文は東北大学医学部ウェブサイトをご覧ください

カリキュラム (看護学専攻・放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻)



医学部保健学科のディプロマ・ポリシー

- 1 高度化、複雑化する医療技術に的確に対処しうる科学的かつ深い専門知識を有している。
- 2 科学的根拠に基づく看護学・保健学・臨床医学及び医療技術を実践し、他の保健・医療等専門職と協働してチーム医療・チームケアの一員として参加する能力を有している。
- 3 冷静、緻密な総合的判断の元に、優れた倫理観と豊かな人間性及び社会的使命感を持って保健・医療に貢献する能力を有している。

看護学専攻 Nursing

‘ケア’の本質を追究する看護学の学習を深めます

21世紀は‘ケア’の時代といわれています。では看護が担う‘ケア’の本質とは何でしょうか？看護は、人々が潜在する能力を最大限に発揮し、自らの生活を健康的な生活に整えていく過程を支援する活動です。たとえ、死の際にあっても健康的な生活が実現できるように支援することなのです。また、看護は病院、学校、職場、施設、日常の暮らしの場と人々の生活のあらゆる場で実施されています。そのため看護職には深い人間理解と高度な見識が必要となります。看護学は、これらを支える科学の分野です。



1年次

幅広い教養が身につく

幅広い教養を得るために全学教育科目を学ぶとともに、生命の尊厳を理解し、対象の人権擁護の基盤としての看護の哲学と倫理観を身につけます。学習成果の適正な評価とフィードバックによって、学生の内省・自己啓発と能力開発を促進します。

2年次

看護の基礎を学ぶ

看護の基礎となる科目の学習を通して、専門知識を習得します。看護専門職者として優れた倫理観と豊かな人間性及び社会的使命感を持って保健・医療に貢献する基本的態度を学びます。また、リーダーシップ及びメンバーシップの役割を理解し、自己に課せられた責任を果たす態度を学びます。さらに、科学としての看護学を探究する姿勢を身につけるために研究の基礎を学びます。

3年次

知識と技術の基盤を作る

対象の特性に合わせて身体・心理・社会的ニーズを判断し支援するうえでの必要な知識・技術・態度を専門領域ごとに学びます。看護に関する様々な問題を正しくとらえて解決するための基本的な能力を身につけます。特に3年次からは現場での臨地(病院)実習が始まります。これらを通して社会の変動に伴うヘルスニーズを見極め、対象や地域の特性に応じた看護の役割を理解し、継続看護を提供できる能力を身につけます。

4年次

科学的かつ深い専門知識の習得

高度化、複雑化する医療技術に的確に対処しうる科学的かつ深い専門知識を得ながら、科学的根拠に基づく看護を実践し、他の保健・医療等の専門職と協働してチーム医療・チームケアの一員として参加する能力を身につけます。そして、卒業研究によって研究マインドを育み、看護学の実践力を備えた医療専門職業人・医療現場のリーダーとして活躍できる能力を身につけます。さらに、看護職者として自己評価ができ、自ら学習を継続し専門職業人として生涯成長しつづけていくことを学びます。

放射線技術科学専攻 Radiological Technology

安全・正確・高精度な放射線技術へ 可能性は広がり続けます

放射線医療には画像診断、核医学、放射線治療の3つの領域があり、超音波・磁気・X線・放射性同位元素によって人体の内部を画像化し診断すること、疾患部を放射線によって治療することを行っています。放射線医療は安全で正確かつ高精度に施行されることが絶対条件であり、その基盤となる学問が放射線技術科学です。放射線技術科学は医学と放射線の基礎から医療機器の理論、診断画像の撮影および構築法、放射線治療および生物学、放射線計測法および管理など広範囲な学問領域からなります。



1年次

幅広い教養を習得し人間性を深める

1年生では主に幅広い教養を修得するための全学教育科目を学びます。これにより人間性を深め、将来医療、医学の現場で活躍するための土台を構築します。加えて専門教育への橋渡しとしての専門基礎科目も学びます。これによりシームレスに基礎学問から応用学問の習得を進めることができます。

2年次

一般教養から専門への橋渡し

診療放射線技師が扱う放射線などは物理学の法則に基づいています。また、放射線機器を知るためには工学の知識が必要になります。この放射線機器を扱い、医療に携わるためには、医学・生物学の知識も必要です。この観点から、2年次では理学、工学、医学の基礎を学び、3年次以降のより専門的な教育へスムーズに橋渡しを行います。

3年次

幅広い専門知識とその実践を学ぶ

3年生では放射線技術学の専門知識をさらに深めます。後期からは、数名のグループに分かれ、東北大学病院や近隣病院で臨地（病院）実習を行います。臨地実習を通して、講義や実験等で修得した基礎知識を医療の現場でどのように適用し応用すべきかを学ぶとともに、最先端の診療技術や患者さんの接遇について実体験します。最先端機器を実際の目で見る貴重な機会であるとともに、診療放射線技師の社会的役割を認知し、患者さんや医師および他のメディカルスタッフ等との関わりに関しても間近に接することができる良い機会です。

4年次

研究マインドを身につける

4年生の前期は、3年生に引き続き病院実習が行われます。それと並行して、7分野に分かれて卒業研究が始まります。卒業研究では、研究の一端に触れることで研究マインドを身につけます。将来、放射線技術科学の指導者や教育者並びに研究者として、当分野を支え得る質の高いすぐれた人材の育成を目指します。例年、11月下旬頃に卒業研究発表会が開かれ、研究成果を皆の前で発表し、活発な質疑応答が行われます。研究の一端に触れることはもちろん、発表の技術を身につけることも卒業研究の重要な目標の1つです。

検査技術科学専攻 Medical Technology

病気の原因・治療方法を判断するための 先端技術を学びます

臨床検査全般に関する学問領域です。現在の医療において、検査は診断・治療の指針となる重要なデータを提供しています。生体成分の質的・量的変動を捉える化学検査、体内に侵入した病原菌・ウィルスを特定する病原検査、組織や細胞の形態的变化を捉える病理検査、生体の活動を直接捉える生理検査や画像検査、輸血・移植領域で欠かせない免疫学的検査などがあり、これら検査法の開発・応用や病態との関連を解析するなどの研究を行います。



1年次

専門教育へ向けた基盤づくり

人間性豊かで幅広い教養と優れた倫理観、深い専門知識を有する臨床検査技師の育成へ向けた学習の第一歩を踏み出します。特に、東北大学共通の全学教育を学ぶことで幅広い教養と柔軟な思考力を身につけ、専門教育の早期開始により専門知識修得へ向けた動機付けを行います。

2年次

週の大半が専門教育科目に

専門教育科目の授業が本格化し、生活の主体は星陵キャンパスに移ります。1年次に学習した全学教育科目の知識をスタートラインとして、より専門的な新しい知識と出会う毎日です。実習科目も開始され、「検査」を体感しながら技術を身につけ、知識を整理してゆきます。臨地(病院)実習に行くための基礎作りの学年です。また、検査の確かな腕を身につけるため、そして講義で学んだことを実際に体験して理解を深めるために、多くの実習があります。3年次の臨地実習、4年次の卒業研究に向けて実験の進め方や結果に対して論理的に考察することを身につけます。

3年次

専門教育科目の総仕上げ

3年次は、学内実習が中心の前半と臨地実習が中心の後半に大きく分けられます。前半の半年間は午前には講義、午後に実習を行い、後半の臨地実習に向けて知識と技術をまとめます。そして後半が臨床の現場を体験する臨地実習になります。この実習を通じて臨床検査技師という職種が病院という組織の中で果たしている役割を学びます。そして、自分が大学で学んできた知識と技術がどのような意味を持ち、どのようなことに役立つのかを肌で感じるすることができます。このような経験を通して、卒業後の自分の進路を考えていくことになります。

4年次

充実した研究活動ときめ細かな国家試験対策

卒業研究では、4月～11月まで8か月間にわたり、専攻内の各分野に加え、大学病院・医学科・加齢研などの様々な研究室に配属され、充実した研究生活を送ります。卒業研究で研究の面白さに目覚め、大学院博士前期課程(修士)に進学する学生さんも数多くおられます。また、並行して、学内で数回にわたり臨地実習筆記試験・国家試験模擬試験を行うことに加え、試験直前には国家試験問題講習会を行い、きめ細かな国家試験対策を行います。

V o i c e

学生の声



看護学専攻4年

山之内 真優さん

【新潟県立長岡高等学校出身】

看護学を学べるだけでなく、国際交流や研究にも取り組める環境に魅力を感じ入学しました。講義や実習を通して、看護の対象者が「その人らしく」生きていけるように、身体面に加えて心理・社会的な面にも目を向けて関わることの大切さを学びました。また、看護職の多彩なキャリアを知る機会があり、将来の選択肢の幅が広がりました。皆さんも、この充実した環境で看護学を学んでみませんか。



看護学専攻4年

木村 彩乃さん

【宮城県仙台第三高等学校出身】

がん看護や緩和ケアの研究室があり、興味があったがん医療について深く学べる環境に惹かれ、入学しました。切磋琢磨し合える仲間と講義や実習に取り組み、看護学について理解を深めることができます。看護学専攻には経験豊富な先生方が多く、様々な看護職の中から自分が目指すキャリアを選択することができます。ぜひ皆さんも、本学で興味惹かれる分野を見つけてみてください。



放射線技術科学専攻4年

仙木 志依さん

【岩手県立盛岡第三高等学校出身】

診療放射線技師の養成に加え、研究にも力を入れている点に魅力を感じ入学しました。放射線専攻では、多種多様な志を持つ仲間と共に、日々の講義や実験などを通して深い学びを得ることができます。臨地実習では、時代の先端をゆく現場の空気を肌で感じながら、幅広い知識を身につけることができました。ぜひ、皆さんもご自身が興味をもつ世界に飛び込んでみてください。



放射線技術科学専攻4年

矢吹 翔汰さん

【福島県立安積黎明高等学校出身】

小学生の頃に見た実験動画で放射線に興味を持ち、本専攻を志望しました。最前列で活躍なさる先生方のアツイ授業や、優秀な仲間達と切磋琢磨し合える環境は、非常に心地良いものです。医学物理士として、雄大な自然を誇る地元の福島県に放射線治療を通じて恩返しをすることが私の夢です。ぜひ皆さんもオープンキャンパス等で、東北大学医学部の最高の環境を肌で感じてみてください。



検査技術科学専攻4年

富永 理心さん

【宮城県古川高等学校出身】

臨床検査技師を目指せるだけでなく、幅広い学問を学び、研究にも力を入れることができる点に魅力を感じ、入学を決めました。臨地実習では、熱意ある技師の方々から実践的な知識や技術を学ぶことができました。また、ご活躍中の卒業生からお話を伺う機会も多く、非常に刺激を受けています。ぜひオープンキャンパスに参加し、東北大学の雰囲気を感じてください。



検査技術科学専攻4年

阿部 祥知さん

【宮城県仙台第一高等学校出身】

最先端の研究環境のもとで学び、医療現場で活かせる知識と技術を深めることができると考え、本専攻を志望しました。臨地実習では実際に臨床の現場で働いている方から専門的な内容を体系的に学ぶことができ、多くの貴重な経験を積むことができました。今後は、患者に寄り添うことのできる臨床検査技師になりたいと考えています。皆さんが未来の医療を支える日を楽しみにしています。

Message

先輩からのメッセージ



東北大学
大学院医学系研究科

藤原 優月さん

【令和7年3月卒業】

看護学専攻では、1・2年次に双方向の講義を通じて看護の基礎知識を習得し、3年次以降は実習や研究を通じてその知識を実践に活かしながら視野を広げていきます。現在私は、質の高い看護力と、住民一人ひとりに寄り添う人間性を兼ね備えた地域の保健師を目指しています。この道は、本専攻での学びと出会いによって見いだすことができました。東北大学には、豊富な経験を持つ先生方や向上心の高い仲間たちが揃っており、私の興味を引き出し、成長を支えてくれました。また、実習を通じて、患者さんや指導者をはじめ関わるすべての方々から学びを得ることができ、私にとって非常に貴重な経験となっています。皆さんも充実した学生生活を送りながら、自分の将来について考えてみませんか。



東京大学
医学部附属病院

和田 咲季さん

【令和7年3月卒業】

看護学専攻では、看護の基本となる技術や幅広い知識を身につけ、実習を通して学びを深めることができます。また、卒業研究を通して、論理的に考える力や探求する力を養うことができます。特に講義や実習では、話し合いながら課題の解決に取り組む場面が多くあり、臨床で求められる協働力や自主性を身につけることができました。将来は、より専門性を高め、日々進歩する医療の中で、患者さんに寄り添った看護を提供できるよう励んでいきたいと思います。4年間を通して、高い目標を持つ仲間と共に学ぶ環境は刺激的で、互いに切磋琢磨しながら成長できたことが、私にとって大きな財産です。みなさんも、様々な価値観を持つ仲間と共に看護を学び、自分自身の将来を見つめてみませんか。



東北大学病院

佐藤 園香さん

【令和7年3月卒業】

放射線技術科学専攻では、1年次には主に基礎医学的な知識を学び、2年次からは放射線を安全に扱うための理工学・生物学的な知識を実験を通して身につけます。3年次後期から始まる臨地実習は現場で働く技師さんを間近で見ることができ、座学では学びきれない臨床的な知識について知る貴重な経験ができます。また4年次には実習・就活・卒業研究と忙しくなりますが、優秀な友人達と協力し合いながら自分の興味のある分野を極めることができ、楽しいです。卒業後の進路としては診療放射線技師として病院で働いたり大学院に進学したりするだけでなく、医療機器企業や原子力規制庁で放射線のスペシャリストとして活躍するという道もあります。ぜひ本専攻で放射線について学んでみませんか。



東北大学
大学院医学系研究科

伊藤 栞大さん

【令和7年3月卒業】

検査技術科学専攻では、臨床検査の基礎知識から専門的な技術までを体系的に学ぶことができます。講義や実習を通じて着実に成長し、3年次には病院での臨地実習を行い、4年次には卒業研究として最先端の医学研究に取り組むことができます。私は元々臨床検査技師になることを目指していましたが、卒業研究を通じて「研究」に魅力を感じ、新たな目標を見つけることができました。本専攻の魅力は、臨床検査技師として医療に携わるだけでなく、研究を通じて新たな知見を生み出すなど、様々な角度から医療に貢献する道が開かれているところにあると思います。ここでしか得られない貴重な学びと経験が皆さんを待っています。ぜひ本専攻で自分の可能性を広げてほしいです。

進路 Career Path

就職だけでなく、大学院に進み、研究者への道を選ぶ卒業生も多くいます。

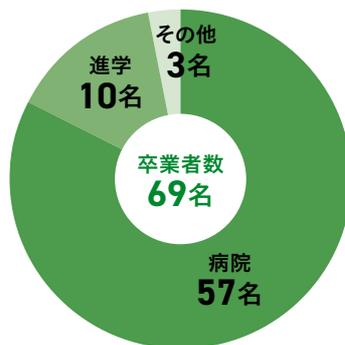
看護学専攻

在籍者数 (令和7年4月1日現在)

291名(男22 / 女269)

学年	男女別	計
1年	男2 / 女71	73
2年	男6 / 女69	75
3年	男8 / 女62	70
4年	男6 / 女67	73

進路別割合 (令和7年4月1日現在)



※就職かつ進学の1名を含む

主な就職先

- 宮城県 東北大学病院
- 宮城県 仙台赤十字病院
- 東京都 東京大学医学部附属病院
- 東京都 聖路加国際病院
- 東京都 国立成育医療研究センター など

主な進学先

- 宮城県 東北大学大学院医学系研究科 など

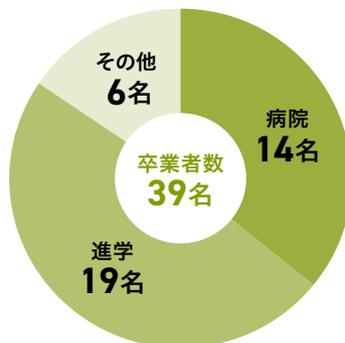
放射線技術科学専攻

在籍者数 (令和7年4月1日現在)

156名(男75 / 女81)

学年	男女別	計
1年	男16 / 女22	38
2年	男22 / 女19	41
3年	男18 / 女20	38
4年	男19 / 女20	39

進路別割合 (令和7年4月1日現在)



主な就職先

- 宮城県 東北大学病院
- 宮城県 仙台市立病院
- 宮城県 仙台赤十字病院
- 秋田県 秋田大学医学部附属病院
- 京都府 京都大学医学部附属病院 など

主な進学先

- 宮城県 東北大学大学院医学系研究科

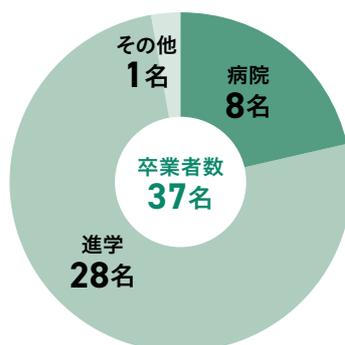
検査技術科学専攻

在籍者数 (令和7年4月1日現在)

153名(男43 / 女110)

学年	男女別	計
1年	男7 / 女30	37
2年	男12 / 女26	38
3年	男13 / 女27	40
4年	男11 / 女27	38

進路別割合 (令和7年4月1日現在)



主な就職先

- 宮城県 東北大学病院
- 宮城県 仙台市立病院
- 宮城県 仙台厚生病院
- 青森県 八戸赤十字病院 など

主な進学先

- 宮城県 東北大学大学院医学系研究科
- 宮城県 東北大学大学院医工学研究科 など

クラブ・サークル活動 Club and Circle activity

東北大学全体のクラブ・サークルとは別に、医学部独特のクラブ・サークルがあります。

医学部の学生は実習時間が多く、毎日十分な練習時間がとれないことから、医学部だけのサークルに入る学生が多いようです。このようなサークルは各医学部・医科大学にあり、特に体育系サークルでは、東日本の大学を集めた専用の大会(東日本医科学生総合体育大会)があります。



体育系サークル

- 陸上競技部
- 水泳部
- ラグビー部
- サッカー部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- バレーボール部
- 準硬式野球部
- 軟式庭球部
- 硬式庭球部
- 卓球部
- バドミントン部
- 柔道部
- 剣道部
- 弓道部
- スキー部
- ヨット部
- 漕艇部
- ワンドルング部
- ゴルフ部
- フットサル部
- ビリヤードサークルSCRATCH
- ハンドボール部
- バーベルクラブ

文化系サークル

- 星陵アンサンブル
- 保健部セツルメント
- 東洋医学研究会
- 写真部
- 良陵新聞部
- メディカルインターネットサークル
- 軽音楽部
- 星陵混声合唱団
- 救命救急サークルRet's
- 鉄道愛好会
- 医学祭実行委員会
- 茶道部
- 臨床推論サークルTeam COOL
- バイク部
- 国際交流サークルI Health
- 囲碁将棋部
- 学生会運営委員会

クラブ・サークル
活動についての
詳細はこちらから





附属図書館医学分館

約10万冊の図書、約1万5千タイトルの雑誌を所蔵し、医学系研究科・医学部、歯学部、および東北大学病院などに所属する学生・教職員を対象に、医学関連の専門図書館としての役割を担っています。また、電子ジャーナルや電子ブックも充実しており、医中誌webやPubMed、メディカルオンラインなど幅広くアクセスすることができます。2020年に全面的な改修工事を行い、感染対策の施された個別ブースの学習スペースや、グループ学習室が充実しています。

クリニカル・スキルラボ

クリニカル・スキルラボでは、シミュレーターなどを使用して実際の医療現場を模した疑似環境を提供し、医学部生・医師・看護師等の臨床技能教育を安全かつ効果的に行うことができます。臨床現場を反復して再現でき、臨床技能習得のレベルを上げるとともに、学習へのモチベーションを高める効果もあり、教育的有効性は非常に高いことが知られています。また本ラボでは、実技教育を行うだけでなく、ハーフミラーを設置し医療面接でのコミュニケーション能力向上に特化した、医療面接室なども用意しています。



星陵会館

2015年医学部開設百周年記念ホルの完成に合わせて、隣接する学生・教職員の福祉会館である星陵会館もリニューアルしました。この中には書籍も取り扱う売店や食堂が出店しています。この施設内にはピロティや学生利用が可能なスペースがあり、学生同士のコミュニケーションの場ともなっています。2階には開放式のピロティや大小の会議室があり、学生企画のイベントに利用することができます。

6号館グループ学習室

6号館は2014年に隣の東北メディカル・メガバンク棟と合わせ完成した新しい建物です。この建物の1階には10人程度が収容できるグループ学習室が16部屋用意されています。授業以外では、国家試験や定期試験などの試験対策や医学祭の準備などをグループ内で行う際によく利用されています。



修学費と奨学制度【医学科・保健学科】

諸費用 学部・大学院の諸費用は下記のとおりです。

諸費用(令和6年度)	検定料	入学金	授業料
学部学生	17,000円	282,000円	535,800円/年
大学院学生	30,000円	282,000円	535,800円/年
研究生(学部・大学院)	9,800円	84,600円	29,700円/月
科目等履修生	9,800円	28,200円	14,800円/単位
特別聴講学生	—円	—円	14,800円/単位
特別研究生	—円	—円	29,700円/月

※学部学生及び大学院学生の授業料は、年額です。
 ※科目等履修生及び特別聴講学生の授業料は、1単位の相当する授業についての額です。
 ※特別研究生の授業料は、月額です。

日本学生支援機構等による奨学金

学業成績及び家計状況などの書類審査を経て候補者が推薦されたのち、奨学生としての採用が決まります。

日本学生支援機構による奨学金(第一種の場合)

学部(最高月額)		大学院	
自宅通学	自宅外通学	博士前期課程	博士後期課程
45,000円	51,000円	50,000円または88,000円	80,000円または122,000円

日本学生支援機構による奨学金の他に、都道府県等の地方公共団体、民間事業団体、個人の奨学財団等による奨学生の募集があります。学部等の推薦を受けて申し込み、採用の場合は貸与を受けることができます。(本人が申請する場合があります)

奨学生募集地方公共団体(令和6年度)

青森県、岩手県、奥州市、山形県、福島県、いわき市、新潟県、千葉県、茨城県、栃木県、山梨県、静岡県、三重県、広島県、鳥取県など。

奨学生募集民間財団等(令和6年度)

日揮・実吉奨学会、ピジョン奨学財団、川野小児医学奨学財団、杜の邦育英会、みずほ育英会、亀井記念財団、G-7奨学財団、尚志社、新津記念医学教育奨学金など。

授業料免除・徴収猶予・分納

経済的な理由により授業料を納付することが困難であり学業成績が優秀な者は、選考により免除(全額又は半額)されることがあります。また、期限までに納付することが困難な場合には、徴収猶予・月割分納の制度もあります。

授業料・入学金免除状況(令和6年度)(人) ※東日本大震災に伴う経済支援を含む

	授業料免除						入学金免除			
	前期分			後期分			学部	大学院		計
	学部	大学院	計	学部	大学院	計		前期	後期	
出願者数	85	200	285	86	201	287	19	11	6	36
全額免除者数	46	171	217	46	172	218	13	5	1	19
2/3免除者数	14	0	14	15	0	15	3	0	0	3
半額免除者数	2	24	26	3	25	28	0	3	0	3
1/3免除者数	12	0	12	12	0	12	1	0	0	1
1/4免除者数	2	0	2	2	0	2	1	0	0	1
不許可者数	9	5	14	8	4	12	1	3	5	9

褒賞制度

賞の名称	対象学生	令和6年度人数(人)
医学部学生奨学賞	医学科学生	5
海外留学奨学援助制度	医学科3年、6年	15

入試情報【医学科・保健学科】

入学試験実施状況(令和7年度実績)

一般選抜(前期日程)	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	78	48	25	25
志願者	231	92	46	70
第1段階合格	230	92	46	70
受験者	208	76	33	60
合格者	81	49	26	27
入学者	80	48	24	25

AO入試Ⅱ期	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	15	12	4	4
志願者	151	56	25	17
第1次選考合格	55	24	9	10
受験者	55	24	9	10
合格者	18	14	4	4
入学者	18	14	4	4

AO入試Ⅲ期	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	12	10	8	8
志願者	113	47	27	24
第1次選考合格	40	20	13	14
受験者	39	20	13	14
合格者	13	11	10	8
入学者	13	11	10	8

地域枠入試	医学科	
	宮城県枠	岩手県枠
募集人員	7	2
志願者	32	3
第1次選考合格	18	2
受験者	18	2
合格者	7	2
入学者	7	2

国際バカロレア入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3*	—	—	—
志願者	0	—	—	—
第1次選考合格	0	—	—	—
受験者	0	—	—	—
合格者	0	—	—	—
入学者	0	—	—	—

帰国生徒入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3*	—	—	—
志願者	5	—	—	—
第1次選考合格	1	—	—	—
受験者	1	—	—	—
合格者	1	—	—	—
入学者	1	—	—	—

私費外国人留学生入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3*	若干人	若干人	若干人
志願者	3	0	0	0
受験者	3	0	0	0
合格者	1	0	0	0
入学者	1	0	0	0

*合わせて3名

募集人員

募集人員	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
一般選抜(前期日程)	75	48	25	25
AO入試Ⅱ期	15	12	4	4
AO入試Ⅲ期	12	10	8	8
国際バカロレア入試	合わせて3	—	—	—
帰国生徒入試		—	—	—
私費外国人留学生入試		若干人	若干人	若干人
計	105	70	37	37

試験科目

試験科目	医学科	保健学科
一般選抜(前期日程)	大学入学共通テスト 数学・理科・ 外国語・面接 (小作文含む)	大学入学共通テスト 数学・理科・ 英語・面接
AO入試Ⅱ期	筆記試験・面接	筆記試験・面接
AO入試Ⅲ期	大学入学共通テスト 筆記試験・面接	大学入学共通テスト 筆記試験・面接
国際バカロレア入試	筆記試験・面接	—
帰国生徒入試	筆記試験・面接	—
私費外国人留学生入試	面接	学力試験・面接 (看護学専攻は 面接のみ)

出身県別入学者数(令和7年度実績)

地区	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
北海道	5	3	1	0
青森	4	3	6	2
岩手	5	1	4	3
宮城	24	28	11	11
秋田	2	5	1	0
山形	2	7	2	4
福島	4	9	4	4
関東	52	7	7	7
中部	12	8	3	4
近畿	8	2	0	1
中国	0	0	0	0
四国	0	0	0	0
九州・沖縄	1	0	0	0
その他・ 外国の学校等	3	0	0	0
計	122	73	38	37

今後の入試の変更点

詳しくは東北大学入試センターのウェブサイト
(<https://www.tnc.tohoku.ac.jp>)をご確認ください。





東北大学医学部 医学科

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

TEL.022-717-8009 【教務課学部教務係】

FAX.022-717-8021

E-mail: med-kyo2@grp.tohoku.ac.jp

東北大学医学部 保健学科

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

TEL.022-717-7905 【教務課保健学科教務係】

FAX.022-717-8021

E-mail: cms-kyom@grp.tohoku.ac.jp

<https://www.med.tohoku.ac.jp/>

■ Facebook

<https://www.facebook.com/Tohoku.University.School.of.Medicine>

■ X

https://twitter.com/tohoku_univ_med

■ YouTube

<https://www.youtube.com/c/東北大学大学院医学系研究科>



